

# 「でこぼこで」→→ができるまで←←「ひふみどん」

仲間を募集 2010.5

集まった仲間たちと体づくりのために、月2〜3回のペースで稽古スタート。  
稽古ができる場所を探しに、門司や若松を徘徊。  
一番お世話になったのは、山田緑地。大自然の中で体を動かす。サイコーです！

2010.6

いよいよ作品づくりスタート  
週2回のペースで稽古開始

メンバーは社会人・学生であり、福岡市・北九州市と居住地も離れていること、  
仕事や生活のことも考え、週末に稽古を集中しました。

くうきプロジェクト（福岡市）に参加  
自己紹介をテーマに振付を考えて、作品を発表しました。  
年間最優秀作品賞を頂きました！

2010.10

稽古開始

一回4時間を約20日間。主に東京都内のスタジオか地域センターの会議室で。  
前作品のリハーサルがパワフル過ぎていくつかの地域センターが出入り禁止に  
なってしまう、稽古場探しに苦労した。

振付を作りながら音楽を作る作業の繰り返し。

2010.11

振付から構成に入り音楽を決定

まさかのチャイコフスキーを選択。  
今までとは違う捉え方で動きや空間や構成を考えたく、  
稽古前に数学者・森田真生氏の圏論レクチャー。  
思考としてのダンスに出会う。そして知った事は直ぐに反映できない事を実感。

2010.12

一関文化センター初演

公開ワークショップとの抱き合わせ公演だったため、切り替え力を試された。

タイトル決定 平日夜の稽古も開始  
土日以外にもメンバーが自主的に集まり稽古したり、また、一緒に舞台も観にいっ  
たり。とにかく、いつもメンバーが近くにいる・・・そんな感じでした。

出来上がっていた作品を捨てる

かなり思い切りました。もっといい振りや動きが見つけたいと思ったので。

2011.1

作品のかたちがやっとな見え、衣裳が決まる

音楽も大方決まり、舞台図案も決定。  
あらかじめ使ってみたかった音楽の他に、ツタヤ・iTunesなどを利用して、  
いろんなジャンルの音楽を聴き、音楽を決めました。

2011.2

音響スタッフ牧村さん・照明スタッフ寺下さんが稽古に参加  
二人のことは前から知ってたけど、私の作品を見てもらうのは今回が初めて。  
たくさん意見をもらいました。

2011.3

作品完成

最初から最後まで通して稽古をしました。ワクワクしました。  
通した後全員で感想を言い合い、「もっとこうしたい」という思いと共に、  
出来上がっていたシーンのいくつかを変えることにしました。

2011.3.7~8

北九州再演のための稽古開始

2日間で、振付の変更をざっくりする。

2011.3.11

大震災。  
その時山田は福岡。  
その時伊藤と川合は東京。

2011.3.14

これから本番まで東京と西日本を三往復する予定をやめて  
今日まで旅を続けた方がいいと言われ山田は旅生活。  
衣裳を持ってこなかったのが終始代わりの衣裳を探しまわることが見つからない。  
伊藤と川合は不安と危険で稽古どころじゃない。  
地域センターは電力供給不安定により軒並み強制キャンセル。

2011.3.17

山田引き続き衣裳探し。納得できるものが見つからない。  
諦めて立ち尽くしていたら知人に偶然会う。衣裳探しを手伝ってもらう。  
元の衣裳とそっくりでナイスだが超高いパンツは見つかったけど、金ない。  
衣裳は生き物。代わりはない。正解は東京のタンスの中にある。  
似たものじゃだめだし、  
衣裳代より航空券が安いから東京に取りにかえる！と決める。  
東京帰りのリスクがある。  
衣裳は代わりがあるけどうんさんには代わりがないと言われる。  
それでも帰る事にする。  
Go. 山田うんは寄付を頂く。衣裳が買った。  
パリから電話。  
帰らない事になる。

2011.3.13

2回目通し稽古

初めて全体を通して稽古してから、少し変化しました。  
ここでとどまる事なく、「もっとこうしたい」という思いと共に、  
さらに作品を見直していきました。

京町小屋寄席に出演

北九州演劇フェスティバルの企画に出演しました！  
一部とはいえ、初めてお客様の前で披露したことはとても刺激になりました。

2011.3.14~18

作品を見直す

「この作品で自分は何を表したかったのか」改めて考えました。  
悩みぬいた結果、差し迫った時期だけであえて見直すことを決意。  
この間、牧村さん、寺下さんには作品で使う曲が入ったCDと稽古のDVDを渡して  
音や照明のきっかけを自宅ですらってきてもらいました。

福岡市内で自主稽古

当初、振りの中でイスを使うつもりでしたが、使わないことに決めました。  
ここで劇的变化が始まる！！

2011.3.19

会場づくり

優しいスタッフさん達のアドバイスのもと、  
みるみるうちに会場が出来上がりました。  
いよいよ本番が近い！ドキドキしました。

2011.3.20

ひたすら稽古

作品について考えた結果、少しずつ構成や振付が変わりました。  
それをメンバー全員で必死に稽古します。  
本番まで一週間。いよいよ仕上げに入ります。

2011.3.18

稽古再開

山田は博多の体育館で北九州出身のカンパニーメンバーと体ならし。  
伊藤と川合は東京の森下スタジオ。一週間前とはまるで違う力のない体。

2011.3.22

電話での遠距離リハーサル

山田は神戸のdBで、伊藤と川合はUN工房で。  
そして伊藤と川合、山田うん留守宅に侵入成功して、  
山田の衣裳トップスを発掘する。  
あとは体が三つ揃えば完璧。

2011.3.25

地震と原発で外国人パイロットの帰国が相次ぎ、伊藤と川合が乗るはずのスター  
フライヤーが欠航となったため、予定より2時間早く3人再会。